金森西田の調節池計画について

戸塚正人（まちだ市民クラブ）

問　金森西田の調節池整備計画について、現在地域住民との合意形成も代替地も解決されていない。この状況でも無視して計画通り進めるのか。

市長　もちろん決められた日程だからということではないという考え方でありますし、全部というのはいかないですけれども、私どもとしては、ある程度の合意を得てから現場に入るようにという東京都に対する態度でまいりたいというふうに思っております。

問　市長はこの間「市民協働」の市政運営を表明している。本事業は「市民協働」の視点が抜けていないか。

市長　市としての主体的な説明というのもやはり欠けていたというふうに思います。これはこれでなかなか東京都からの情報収集にかなり少ない部分があり、できなかったというふうに思っています。

新5ヵ年計画／東京オリパラ

若林章喜（自由民主党）

問　忠生地域のまちづくりについては、新5ヵ年計画に組み入れ、政策的な位置づけをすべきだがどうか。

政策経営部長　計画では忠生地区の魅力を高める視点、健康増進や地域資源の活用といった視点で重点事業への位置づけを検討していきたい。

問　困難な時代が予測される中での将来ビジョンを問う。

市長　15年後も、あるいは30年後も選ばれ続ける郊外都市のナンバーワンを目指してまいりたいと考えております。

問　スポーツや文化を通じて子どもたちに「心のレガシー」を育めるよう、学校教育と連携すべきだがどうか。

山田副市長　今後も世界に向けてスポーツの町田を大きくPRすること、オール町田でのおもてなしを通じて子どもたちの心にレガシーを残せる取り組みを進めていきたい。

ふるさと納税・市税流出を防げ

おぜき重太郎（まちだ市民クラブ）

問　市税の流出金額は。

財務部長　16年度は現在の速報値で寄附金額2749万円に対し、市民税の控除額は2億8820万円で、その差額は2億6071万円と年々大きくなっています。

問　対策は。

財務部長　税が減収することにより事業とか行政サービスの見直しが起こらないようにPRをしていかなければいけないと思っています。

問　寄附目的別ふるさと納税の中で、大型映像装置整備事業に対する寄附金額が、目標の半分にも満たない。市民の理解を得る努力をするべきではないか。

髙橋副市長　仕組みも理解していただきながら、今我々がこういうものが必要だということを、しっかり根本的なところをPRして進めていく必要があると思います。

議員提出議案意見書（要旨）

本定例会では、意見書1件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。このような状況の中、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専業化が進んでいる。一方で、地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

内閣総理大臣ほか6件宛て

請願の処理経過及び結果報告

平成28年第3回定例会において採択された請願について市長及び教育委員長から処理経過及び結果について、次のとおり報告がありました。

町田市立博物館（以下、博物館）を『町田市郷土博物館』（仮称）として現在地に存続させることを要望する請願

【処理報告】

町田市立博物館（以下、「博物館」という。）は、1973年（昭和48年）に町田市郷土資料館として開館し、名称の変更を経ながら現在に至っております。

博物館は竣工から43年以上経っており、建物を存続させて使用する場合は、大規模な修繕が不可欠となります。また、同館を建て替える場合も相当の費用がかかり、大きな投資となります。

町田市では現在、博物館が管理する民俗資料や埋蔵文化財については、移管を前提とした協議を町田市教育委員会と進めています。さらに、2022年度に新たに（仮称）国際工芸美術館を開館させ、博物館の収蔵品から工芸美術品を移し、より多くの市民の皆様が鑑賞できる機会を設ける予定です。しかし、（仮称）国際工芸美術館の開館まで時間を要することから、博物館の閉館については前述の状況を踏まえながら、近隣や地元をはじめとした市民の皆様のご意見をお聞きし、より良い方法について、さらに検討を進めてまいります。

障がい福祉における町田市の補助金削減の見直しを求める請願

【請願項目】

障がい者施設等への施設借上費補助金については、影響を慎重に見極め、減額を見直してください。

【処理報告】

障がい者施設等への施設借上費補助金の削減については、2016年度予算決議の際に「新年度以降、削減の影響を慎重に見極められたい」との附帯決議をいただいております。それを受け、現在対象施設のヒアリング等を継続しております。今後は、各施設の実情を把握しつつ、町田市の補助事業全体の動向を踏まえて判断してまいります。

町田市図書指導員制度の抜本的改革を求める請願

【請願項目1】

すべての小中学校に専任・専門の学校司書を公募で配置すること。

【処理報告】

これまで町田市の学校図書館を盛り立ててくれたボランティアの経験を活かして行くことのメリットも踏まえながら、学校司書の配置をどのように実施すべきかを研究してまいります。

【請願項目2】

1を達成するため、ただちに制度設計を行い、実施に取り組むこと。

【処理報告】

他自治体の学校図書館の運営等について、広く情報を集め、より良い学校図書館の運営に向けた学校司書の配置を研究するための会議を設置してまいります。

町田市議会だより縮刷版を発刊しました

平成16年1月30日発行の町田市議会だより第151号から、平成28年4月30日発行の第200号、創刊200号記念特集号までを収録した「町田市議会だより縮刷版」を発刊しました。

これは、年4回発行している「町田市議会だより」をまとめたものです。

「町田市議会だより」は、昭和41年7月の創刊以来、市議会の活動や審議の内容等の情報を知るための身近なツールとして、長きに渡りご活用いただいています。

【市政情報課で販売しています】

市庁舎1階の市政情報課にて1冊2700円で購入することができます。

傍聴者の声

12月定例会を傍聴された方に対し、アンケートを実施しました。ご協力いただき誠にありがとうございました。　**傍聴者数：269名**

本市議会では、傍聴券の交付を受ければどなたでも傍聴することができます。住所、氏名の記載も必要ありません。

年1回、例年12月定例会でアンケートを実施し、傍聴されて気づいた点や市議会全般についてご意見ご要望等をお聞きする機会としています。

【主なご意見】

○質問者がお使いになっている写真、映像等をモニターＴＶ画面等で見ることができたら、傍聴者としてはより理解が深まると思います。ご検討の程、宜しくお願いします。

○傍聴席からテレビモニターが見づらい位置にあると思います。

○初めて傍聴をしたが、議員さんの熱い思いを感じた。緊迫した雰囲気をすごく感じた。

○議員全員がタブレットを使用していることに驚いた。

○傍聴を通し、市民の生活を良くするための議論が行われているということが分かった。タブレットが使用されているが、傍聴している側にも画面が見えると良いのではないかと思う。

○現在の町田市の課題を把握することができよかった。専門用語（横文字）などは知らない言葉であったので意味が理解できず残念。

○今回初めて議会を傍聴させて頂きました。実際に傍聴させて頂いたことで、どのような流れや雰囲気の中で会議が行われているのか具体的に知ることができ大変勉強になりました。

【ご報告】

～前回いただいたご意見から改善した点～

１年前のアンケートで、本会議場や委員会室での発言が聴き取りづらいというご意見が多く寄せられたことを受けまして、新たにスピーカーを設置するなど音響について試行を重ねた結果、現在はより傍聴しやすい環境となりました。

市議会を傍聴しませんか

市庁舎３階の受付カウンターまでお気軽にお越しください。

次回３月定例会の日程は１面をご覧ください。